

4枚中3枚のガラスを交換し、既存ガラスとの効果を比較～Kさま邸

サッシはそのまま、簡単取付



スペースシアの厚みは6.2ミリと薄く、既存のサッシをそのまま活用可能。ガラスを交換するだけで、工事もスピーディ。Kさん宅も1枚あたり約30分とスムーズにガラス交換が完了した。

ダイニングは2枚とも交換



ダイニングの窓ガラスは2枚ともスペースシアSTIIに交換。結露に悩まされることはなくなり、いつでも外の景色を楽しめるようになった。奥さまもその性能に大満足。

リビングは1枚だけ交換し、既存ガラスとの性能を1年間比較する

リビングに2枚あるうちの1枚だけをスペースシアSTIIに交換し、既存の窓ガラスとの効果の違いを比較。交換した窓ガラスは結露が大幅に軽減。寒さの厳しい日も窓ガラスの表面温度が室内気温とほぼ同等の温度に保たれるなど窓際の快適さが格段にアップした。

DATA 11月29日(晴) 7:51am
外気温8℃、室内気温20℃



左側がスペースシアSTIIに交換済みの窓ガラス。防露性の高さは一目瞭然。スペースシアSTII室内側表面温度15℃に対し、右側の既存窓ガラス室内表面温度は11℃。

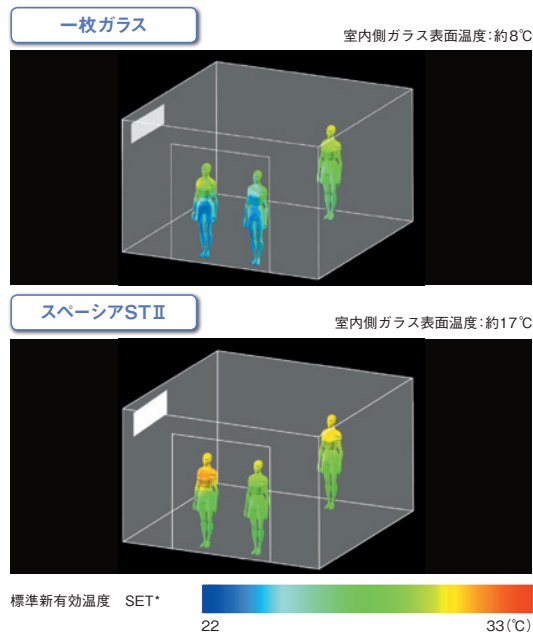
DATA 12月24日(晴) 7:31am
外気温4℃、室内気温18℃



この日の計測値は、スペースシアSTIIの室内表面温度は15℃、既存窓ガラス室内側表面温度は10℃。約1カ月前より外気温が低いため、右側の既存ガラスの結露が激しい。

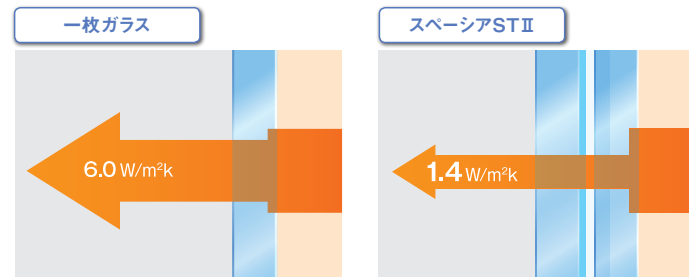
スペースシアと一枚ガラスとを比較する

サーモグラフィ



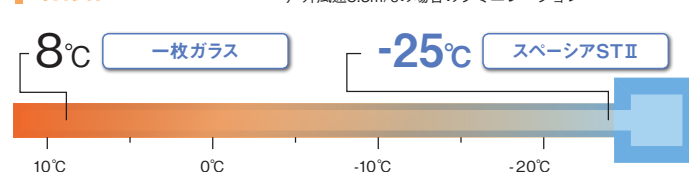
冬場の室内を想定した体感温度の比較シミュレーションでもスペースシアの能力は歴然。「部屋が暖まりにくい」「窓際や足元がひんやりする」—そんな冬の悩みはスペースシアで解決。

断熱性



スペースシアの断熱性能は一枚ガラスの約4倍、一般的な複層ガラスの約2倍。冷暖房費を約40%削減(東京の場合)し、光熱費の節約にも寄与します。省エネ効果によるCO₂削減など、地球温暖化の防止にも貢献するエコなガラス。

結露



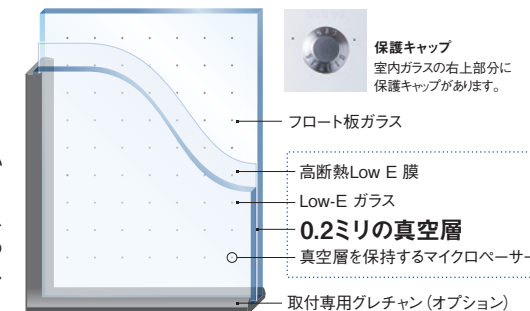
カーテンや窓枠を汚すだけでなく、シックハウス症候群の原因となるカビ発生の原因にもなる結露。一枚ガラスの場合、外気温が8℃で結露が発生するのにに対し、スペースシアSTIIの結露発生外気温はなんと-25℃と、優れた断熱性能で結露を低減。

真空ガラスの効果を
実感しています

結露の軽減に効果を発揮する「スペースシアSTII」のモニターをするKさん宅。既存の窓を1枚だけ残し、比較データを記録している。

2枚のガラスの間にある真空層と、特殊金属膜で
高い断熱性能を実現

断熱には、魔法瓶のように熱の伝導・対流のない真空が理想です。0.2ミリの真空層を持つスペースシアは、世界で初めて真空技術を実用化した窓ガラスです。



真冬でも結露のない
快適環境を実現

これからむかえる寒い冬を快適に過ごすなら、「エコガラス」がおすすめ。日本板硝子の真空ガラス「スペースシア」は、2枚のガラスの間を真空にする独自の技術により、複層ガラスに見られる空気での断熱に比べ、高い断熱性能を発揮するエコガラスです。その効果についてお聞きするべく、昨年11月からスペースシアのモニターをされているKさんのマンションを訪ね。スペースシアを設置したのは、ベランダ側の4枚のガラスのうち3枚。比較のための既存の1枚ガラスを残し、モニター期間(1年間)終了後に残りの1枚も交換する予定です。

Kさんに見せていただいたのが、冬場の結露の写真と温度(外気と室内、ガラスの表面)の計測データ。既存のガラスが結露しているのに対し、スペースシアはほとんど結露が見られませんでした。計測したガラスの表面温度の差も約5℃と大きな違いが現れました。

「結露のせいで毎朝窓を拭いていましたが、スペースシアは結露しませんでした、その必要もなくなり大助かり。起きてすぐに外の景色が見られます。モニターを終え、残りの1枚も交換するのが楽しみです」とご主人。